

Dell P3221D モニター ユーザーガイド

モデルP3221D
規制モデル:P3221Dt



- **注釈:**注釈には、コンピュータをより有効に使用するために役立つ重要な情報が示されています。
- △ **注意:**注意には、指示に従わなかった場合に起こり得るハードウェアへの損傷またはデータの損失が示されています。
- ⚠ **警告:**警告には、物的損害、身体への傷害、または死亡の可能性が示されています。

Copyright © 2020 Dell Inc. またはその子会社。無断複写・転載を禁じます。Dell、EMC およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

安全に関する注意事項	5
モニターについて	6
パッケージの内容	6
製品の特徴	8
部品とコントロールを識別する	9
前面図	9
背面図	10
底面図	11
モニターの仕様	12
解像度の仕様	13
プリセット表示モード	14
電氣的仕様	15
物理的特徴	16
環境特性	17
ピンの割当	18
プラグアンドプレイ	23
LCD モニターの品質とピクセルポリシー	23
エルゴノミクス	23
ディスプレイの取り扱いと移動	25
メンテナンスガイドライン	26
モニターのお手入れ	26
モニターを設置する	27
スタンドを取り付ける	27
傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する	30



傾斜、回転、垂直延長調整機能	30
ディスプレイを回転させる	30
システムの「ディスプレイ回転設定」の調整	31
モニターを接続する	32
ケーブルを整理する	35
Kensington ロックを使用してモニターを固定する (オプション)	35
モニタースタンドを取り外す	36
壁取り付け (オプション)	37
モニターを操作する	38
モニターの電源を入れる	38
ジョイスティックコントロールを使う	38
OSDロック機能を使用する	40
フロント-パネルボタン	43
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用する	44
メニューシステムにアクセスする	44
OSD 警告メッセージ	55
最大解像度を設定する	59
トラブルシューティング	60
セルフテスト	60
内蔵されている診断機能	62
よくある問題	63
製品に固有の問題	65
ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題	67
付録	68
FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報	68
Dell へのお問い合わせ	68
エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース:	68



安全に関する注意事項

△ **注意:**本文書に指定されている記述以外の操作、調整、または手順をおこなった場合、衝撃や電氣的危険、および/または機械的危険にさらされる可能性があります。

- ・ モニターは硬い表面に置き、取り扱いには注意してください。画面は壊れやすく、落としたり激しい打撃を受けたりすると損傷する可能性があります。
- ・ モニターが、お住まいの地域で使用する AC 電源で動作するように、定格電圧になっていることを常に確認してください。
- ・ モニターは室温で保管してください。過度な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- ・ モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。例えば、モニターを車のトランクに置くことはしないでください。
- ・ 長期にわたってモニターを使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- ・ 感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。


安全に関する注意事項情報については、安全、環境、規制に関する情報 (SERI) を参照してください。



モニターについて

パッケージの内容


モニターには、表に示すコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが揃っていることを確認し、不足しているものがあれば、[Dellにご連絡](#)。

 **注釈:**一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	ディスプレイ
	スタンドライザー
	スタンドベース
	電源ケーブル (国によって異なります)
	USB タイプ C [®] ケーブル (C - C)



	USB タイプ C ケーブル (C - A)
	DisplayPort ケーブル
	ケーブルタイ
	<ul style="list-style-type: none"> ・クイックセットアップガイド ・安全、環境および規制に関する情報

 **注釈: USB Type-C®およびUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。**



製品の特徴

Dell P3221D モニターにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、LED バックライトが備わっています。モニターの機能には次が含まれます:

- **P3221D:** 80.1cm (31.5インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 2560 x 1440 (16:9)。それ以下の解像度に対してはフルスクリーン対応。
- 99%色域による広視野角。
- 傾斜、回転、ピボット、垂直延長調整機能。
- 取り外し可能なスタンドと自由自在な取り付けが可能な VESA (ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション) 100mm 取り付け穴。
- 超薄型ベゼルにより、マルチモニター使用時に生じるベゼルの隙間を最小限に抑えて設置を容易にし、エレガントな視聴を実現します。
- DP/HDMIを使用した広範なデジタル接続が、モニターの将来性を確保します。
- コンピュータが対応している場合、プラグアンドプレイ機能をサポート。
- セットアップと画面の最適化を容易にするオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- 電源ボタンと OSD ボタンのロック機能。
- セキュリティ固定スロット。
- スタンバイモードで ≤ 0.3 W。
- ちらつきのない画面を使って、眼の快適さを最適化します。

⚠ 警告: モニターからの長時間にわたるブルーライトの放出により、目の疲労やデジタル眼精疲労など、目の損傷が生じることがあります。ComfortView 機能は、モニターから放出されるブルーライト量を減らして、目の快適さを最大限に保つように設計されています。



部品とコントロールを識別する

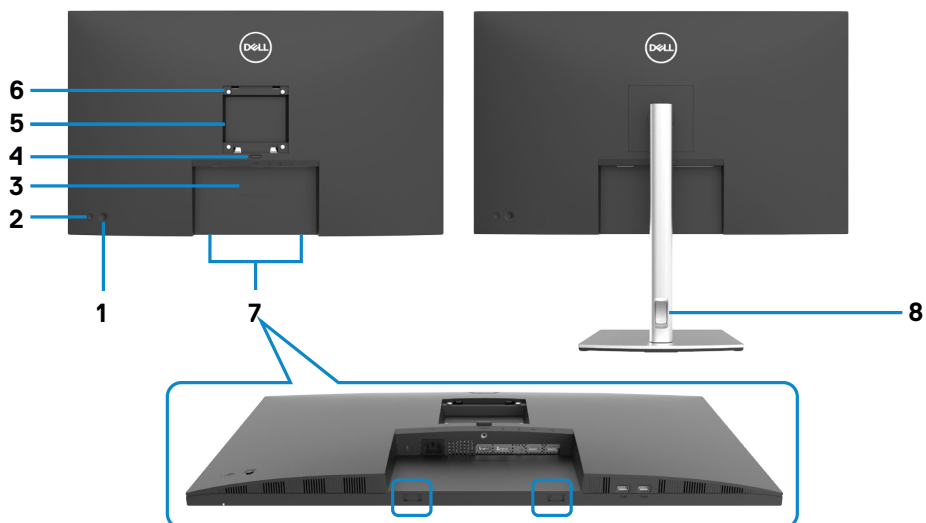
前面図



ラベル	説明	使用
1	電源LEDインジケータ	白くライトが点灯した場合、モニターがオンで正常に機能していることを示します。ライトが白く点滅する場合は、モニターがスタンバイモードであることを示しています。



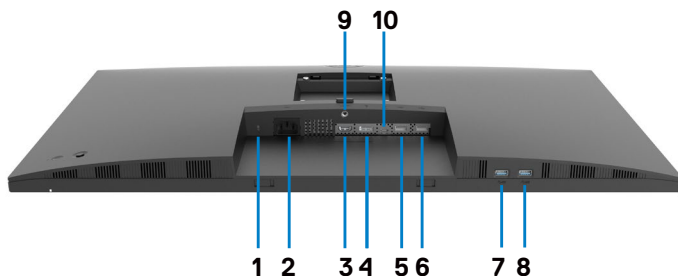
背面図



ラベル	説明	使用
1	ジョイスティック	OSD メニューの操作に使用します。
2	電源オン/オフボタン	モニターのオン・オフを切り替えます。
3	バーコード、シリアル番号、サービスタグラベル	Dell にテクニカルサポートを要請する際にはこのラベルを参照します。
4	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを外します。
5	規制ラベル	規制当局からの認可をリスト表示します。
6	VESA マウント用穴 (100 mm x 100 mm - 取り付けられた VESA カバーの後ろ)	VESA に対応した壁取り付けキット (100 mm x 100 mm) を使用して壁に取り付けたモニター。
7	Dell サウンドバー取付ブラケット	オプションの Dell サウンドバーを取り付ける。
8	ケーブル管理スロット	スロットを通して配置することで、ケーブルをまとめるために使用します。



底面図



ラベル	説明	使用
1	セキュリティ固定スロット	モニターをセキュリティケーブルロックで固定します (別売)。
2	AC 電源コードコネクタ	電源ケーブルを接続してください。
3	HDMI ポート	HDMI ケーブル (オプション) を使って、ご利用のコンピュータを接続します。
4	DP コネクタ (イン)	コンピューターの DP ケーブルを接続してください。
5&6	USB2.0 ダウンストリームポート (2)	USB デバイスを接続します。これらのポートは、コンピュータからモニターに USB ケーブル (タイプ C 対タイプ C) を接続した後にのみ使用できます。
7&8	SuperSpeed USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) ダウンストリームポート (2)	USB デバイスを接続します。これらのポートは、コンピュータからモニターに USB ケーブル (タイプ C 対タイプ C) を接続した後にのみ使用できます。
9	スタンドロック	M3 x 6 mm ネジを使用してスタンドをモニターに固定します (ネジは同梱されていません)。
10	USB タイプ C	USB タイプ C ケーブルを使用して、コンピュータに接続します。 SuperSpeed USB 5 Gbps (USB 3.2 Gen1) タイプ C ポートは最速の転送速度を提供し、DP 1.2 を使用した代替モードは最大解像度 2560 x 1440 をサポートします (60 Hz、PD 20 V/3.25 A、15 V/3 A、9 V/3 A、5 V/3 A 時)。 注意: USB タイプ C は、Windows 10 より前のバージョンの Windows ではサポートされていません。



モニターの様

画面タイプ	Active matrix - TFT LCD
パネルタイプ	面内切替技術
アスペクト比	16:9
表示可能な画像寸法	
対角線	800.98 mm (31.5 インチ)
アクティブエリア	
水平	698.112 mm (27.48 インチ)
垂直	392.688 mm (15.46 インチ)
エリア	274140.2 mm ² (424.84 インチ ²)
ピクセルピッチ	0.2727 mm x 0.2727 mm
1 インチあたりのピクセル数 (PPI)	93.24
視野角	
水平	178° (標準)
垂直	178° (標準)
輝度	350 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準)
ディスプレイ画面のコーティング	フロント偏光子 (3H) ハードコーティングをアンチグレア処理
バックライト	LED
応答時間 (グレーからグレー)	5 ms (高速モード) 8 ms (ノーマルモード)
色深度	10 億 7,000 万色
色域 *	99% sRGB
接続性	・1 x DP (入力) ポート ・1 x HDMI ポート ・1 x USB タイプ C (USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) アップストリームポート、最大 65 W の電力配給 PD) ・2 x USB2.0 ダウンストリームポート (2) ・2 x SuperSpeed USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) ダウンストリームポート
境界線の幅 (モニターの端からアクティブエリアまで)	



上部	7.5 mm
左右	7.6 mm
下部	17.9 mm
調整機能	
高さを調節できるスタンド	150 mm
傾斜	-5°～ 21°
回転	-30°～ 30°
ピボット	-90°～ 90°
ケーブル管理	はい
Dell ディスプレイマネージャー (DDM: Dell Display Manager) との互換性	簡単アレンジ およびその他の主要な機能
セキュリティ	セキュリティ固定スロット (ケーブルロックは別売)

* パネルネイティブのみ、カスタムモードプリセット時。

解像度の仕様

水平スキャン範囲	30 kHz ～ 90 kHz
垂直スキャン範囲	56 Hz ～ 76 Hz
最大プリセット解像度	2560 x 1440 (60 Hz 時)
ビデオ表示機能 (HDMI & DP 切替モード)	480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p



プリセット表示モード

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 800	49.3	60.0	71.0	+/-
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.29	60.0	146.25	-/+
VESA, 1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA, 1920 x 1200	74.04	60.0	154	+/-
VESA, 2048 x 1080	66.58	60.0	147.18	+/-
VESA, 2048 x 1152	70.99	60.0	156.75	+/-
VESA, 2560 x 1440	88.8	60.0	241.5	+/-



電氣的仕様

ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none"> 各差動線路にデジタルビデオ信号 1差動線路あたり100オームのインピーダンス DP/HDMI/USBタイプC 信号入力をサポート
入力電圧/周波数/電流	100-240 VAC / 50または60 Hz ± 3 Hz / 1.8 A (最大)
突入電流	120 V: 30 A (最大) 240 V: 60 A (最大)
電源消費	0.2 W (オフモード) ¹ 0.2 W (スタンバイモード) ¹ 25.1 W (オンモード) ¹ 145 W (最大) ² 20.6 W (P _{on}) ³ 65.38 kWh (TEC) ³

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定められた通り。

² すべてのUSBポートに最大電力負荷をかけた状態で、輝度とコントラストを最大に設定。

³ P_{on}: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りのモードの電力消費。

TEC: Energy Star バージョン 8.0 において定義される通りの合計エネルギー消費量 (kWh)。

本書は情報提供のみを目的としたもので、実験室性能を反映したものです。ご注文されたソフトウェアやコンポーネント、周辺機器によっては製品の動作が異なる場合がありますが、そのような情報を更新する義務は負わないものとします。したがって、お客様が電氣的公差などに関する決定を下す際には、これらの情報に依存しないようにしてください。正確性あるいは完全性に関しては、明示にも黙示的にも一切保証しません。

 **注意: ENERGY STAR 認定モニター。**



本製品は工場出荷時の設定でENERGY STARに適合しており、OSDメニューにある「工場出荷時の値にリセット」機能を使って復元することができます。工場出荷時の設定を変更したり、他の機能を有効にすると、消費電力がENERGY STARで指定されている限界値を超えた値に増大する可能性があります。



物理的特徴

コネクタタイプ	<ul style="list-style-type: none">・ DPコネクタ (DP 入力)・ HDMI コネクター・ USB タイプ C コネクタ・ USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) ダウンストリームポート コネクタ x 2・ USB 2.0ダウンストリームポートコネクター x 2個
信号ケーブルの種類	<ul style="list-style-type: none">・ DP-DP 1.8 Mケーブル・ USB タイプ C 1.8 M ケーブル・ USB タイプC - タイプA 1.8Mケーブル
寸法(スタンド付き)	
高さ(延長時)	618.8 mm (24.36 インチ)
高さ(縮小時)	468.8 mm (18.46 インチ)
幅	713.4 mm (28.09 インチ)
奥行	230.0 mm (9.06 インチ)
寸法(スタンドなし)	
高さ	418.0 mm (16.46 インチ)
幅	713.4 mm (28.09 インチ)
奥行	55.3 mm (2.18 インチ)
スタンド寸法	
高さ(延長時)	483.3 mm (19.03 インチ)
高さ(縮小時)	436.5 mm (17.19 インチ)
幅	300.0 mm (11.81 インチ)
奥行	230.0 mm (9.06 インチ)
重量	
重量 (パッケージング込み)	15.6 kg (34.39 ポンド)
重量 (スタンドアセンブリとケーブル込み)	11.2 kg (24.69 ポンド)
重量 (スタンドアセンブリなし) (壁マウントまたはVESAマウント考慮時-ケーブルなし)	6.4 kg (14.11 ポンド)
スタンドアセンブリの重量	4.3 kg (9.48 ポンド)



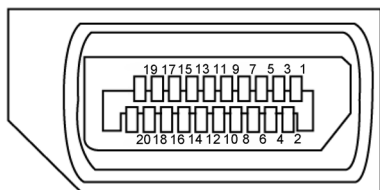
環境特性

適合規格	
<ul style="list-style-type: none">ENERGY STAR 認定モニター該当する場合はEPEATに登録されています。EPEAT への登録は国により異なります。 国別登録状況については、www.epeat.net をご覧くださいTCO認定ディスプレイRoHS準拠BFR/CFR/PVC フリーのモニター (外部ケーブルを除く)NFPA 99の漏れ電流要件に適合ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル(のみ)	
温度	
稼働時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非稼働時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度	
稼働時	10% ~ 80% (結露なし)
非稼働時	5% ~ 90% (結露なし)
高度	
稼働時	5,000 m (16,404フィート) (最大)
非稼働時	12,192 m (40,000フィート) (最大)
熱散逸	494.45 BTU/時間 (最大) 85.65 BTU/時間 (オンモード)



ピンの割当

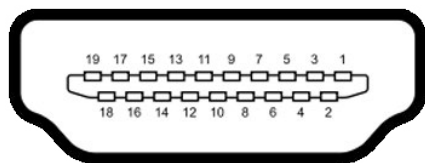
DPコネクタ (イン)



ピン番号	接続した信号ケーブルの20ピン側	ピン番号	接続した信号ケーブルの20ピン側
1	ML3(n)	11	GND
2	GND	12	ML0(p)
3	ML3(p)	13	CONFIG1
4	ML2(n)	14	CONFIG2
5	GND	15	AUX CH (p)
6	ML2(p)	16	GND
7	ML1(n)	17	AUX CH (n)
8	GND	18	ホットプラグ検出
9	ML1(p)	19	リターン
10	ML0(n)	20	DP_PWR



HDMIポート

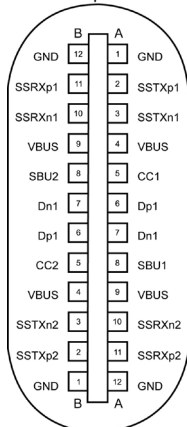


ピン番号	接続した信号ケーブルの19ピン側	ピン番号	接続した信号ケーブルの19ピン側
1	TMDS データ 2+	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック-
3	TMDS データ 2-	13	CEC
4	TMDS データ 1+	14	予約済み(デバイスのN.C.)
5	TMDS データ 1 シールド	15	DDC クロック (SCL)
6	TMDS データ 1-	16	DDC データ (SDA)
7	TMDS データ 0+	17	DDC/CEC グラウンド
8	TMDS データ 0 シールド	18	+5 V 出力
9	TMDS データ 0-	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック+		



USBタイプCコネクタ

USB Type-C
receptacle



typically connected to a charger
through a Type-C cable

PIN	信号	PIN	信号
A1	GND	B12	GND
A2	SSTXp1	B11	SSRXp1
A3	SSTXn1	B10	SSRXn1
A4	VBUS	B9	VBUS
A5	CC1	B8	SBU2
A6	Dp1	B7	Dn1
A7	Dn1	B6	Dp1
A8	SBU1	B5	CC2
A9	VBUS	B4	VBUS
A10	SSRXn2	B3	SSTXn2
A11	SSRXp2	B2	SSTXp2
A12	GND	B1	GND




ユニバーサル・シリアル・バス (USB)

このセクションでは、モニターで利用できるUSBポートについて説明します。

 **注釈:**このモニターは SuperSpeed USB 5 Gbps (USB 3.2 Gen1) および High-speed USB 2.0 に対応しています。

モニターには以下の USB ポートが備わっています:

- ・ 2 ダウンストリーム - SuperSpeed USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1)
- ・ 2 ダウンストリーム - USB 2.0

 **注釈:**モニターの USB ポートは、モニターがオンモードか、スタンバイモードにある場合にのみ機能します。ディスプレイをオフにしてから再びオンにした場合、接続されている周辺機器が通常の機能を再開するまでに数秒時間がかかる場合があります。

SuperSpeed USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1)

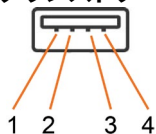
転送速度	データレート	最大消費電力(各ポート)
SuperSpeed	5 Gbps	4.5 W
ハイスピード	480 Mbps	4.5 W
フルスピード	12 Mbps	4.5 W

USB 2.0

転送速度	データレート	最大消費電力(各ポート)
ハイスピード	480 Mbps	2.5 W
フルスピード	12 Mbps	2.5 W
低速	1.5 Mbps	2.5 W

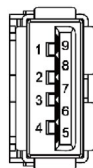


USB2.0ダウンストリームポート



ピン番号	信号
1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	GND

USB 3.2 Gen1 (5 Gbps) ダウンストリームポート



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D-
3	D+
4	GND
5	StdA_SSRX-
6	StdA_SSRX+
7	GND_DRAIN
8	StdA_SSTX-
9	StdA_SSTX+
シールド	シールド



プラグアンドプレイ

モニターは、任意のプラグアンドプレイ対応システムに設置できます。モニターがディスプレイデータチャネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、コンピュータはコンピュータ自身で構成を実行し、モニター設定を最適化することができます。ほとんどのモニターの設置は自動で行われます。必要に応じて、異なる設定を選択できます。モニター設定を変更するための詳細については、**モニターを操作する**を参照してください。

LCD モニターの品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造工程中、1つまたは複数のピクセルが不変の状態に固定されることがよくありますが、これは目視で確認することが難しく、ディスプレイの品質や使用感に影響することはありません。LCD モニターのピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト (<https://www.dell.com/pixelguidelines>) をご覧ください。

エルゴノミクス

△ **注意:** キーボードは、不適切な使用や長時間の使用により、損傷する恐れがあります。

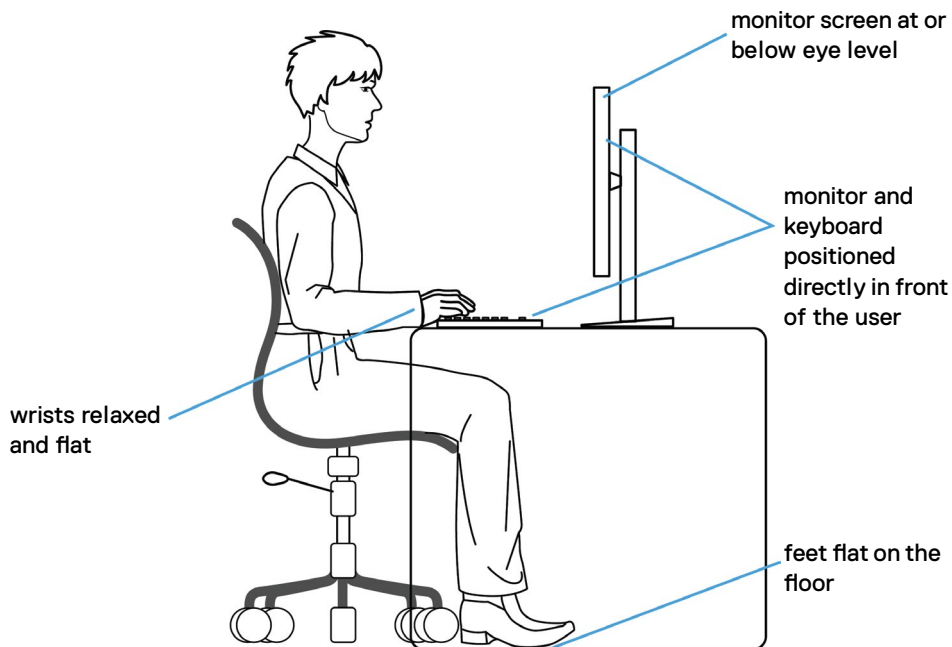
△ **注意:** モニター画面を長時間にわたって見続けると、目の疲れが生じる場合があります。

快適さと効率性のため、コンピュータワークステーションをセットアップして使用する際には、次のガイドラインに従ってください。

- ・ コンピュータは、作業中にモニターとキーボードが正面に来るよう配置します。キーボードを正しく配置するのに役立つ専用の棚も市販されています。
- ・ 長時間にわたるモニターの使用が原因で生じる眼精疲労や首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、以下を推奨します：
 1. 画面は目から50～70cm (20～28インチ) 程度離れた場所に設置してください。
 2. モニターを長時間に渡って使用した後は、頻繁に目を瞬いて目を湿らすか、水で濡らして潤してください。
 3. 2時間ごとに20分間の休憩を定期的かつ頻繁に取ってください。
 4. 休憩中は、モニターから目を離し、20フィート (約6メートル) 先にある物を最低でも20秒間は見つめてください。
 5. 首、腕、背中、肩の緊張を和らげるため、休憩中にはストレッチを行ってください。
- ・ モニターの前に座る際には、モニター画面が目の高さ、または少し下に位置するよう調整してください。
- ・ モニターの傾き、コントラスト、輝度の設定を調整します。
- ・ 周囲の環境照明 (天井照明、デスクライト、近くの窓のカーテンやブラインドなど) を調整して、モニター画面への反射とグレアを最小限に抑えます。



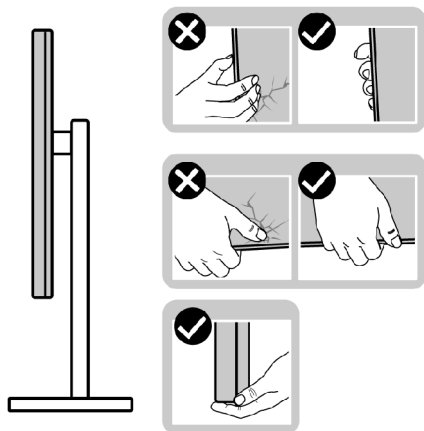
- ・ 腰をしっかり支えるチェアを使用してください。
- ・ キーボードやマウスを使用する際は、前腕と手首が水平に保たれ、ニュートラルで快適な位置にくるようにします。
- ・ キーボードやマウスの使用中は、手を置くためのスペースを常に確保してください。
- ・ 上腕は両方とも自然な状態にします。
- ・ 足を床に平らな状態で置いてください。
- ・ 座っている状態で、脚の重心が座席の前方ではなく、足裏に乗っているようにしてください。正しい姿勢を保つため、必要に応じて椅子の高さを調整するか、フットレストを使用してください。
- ・ 作業内容に変化をつけてください。長時間にわたって座って作業する必要がないよう、作業内容を組み立ててください。定期的に立ち上がり、歩き回るようにしてください。
- ・ 机の下は、障害物やケーブル・電源コードのない状態に保ち、快適に座る際に邪魔になったり、躓く危険性がないようにしてください。



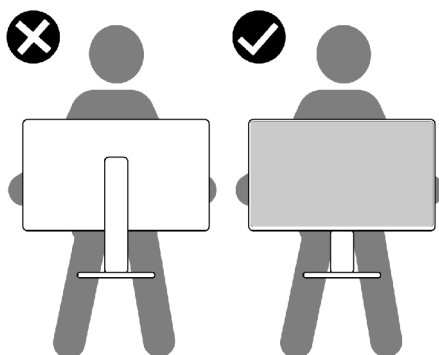
ディスプレイの取り扱いと移動

モニターを持ち上げたり移動したりする際には、モニターを安全に取り扱えるよう、以下のガイドラインに従ってください：

- ・ モニターを移動または持ち上げる前に、コンピュータとモニターの電源を切ってください。
- ・ モニターからすべてのケーブルを外します。
- ・ モニターを付属の梱包材と一緒に元の箱に戻します。
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、過度の圧力がかからないよう、モニターの下端と側面をしっかりと持ってください。



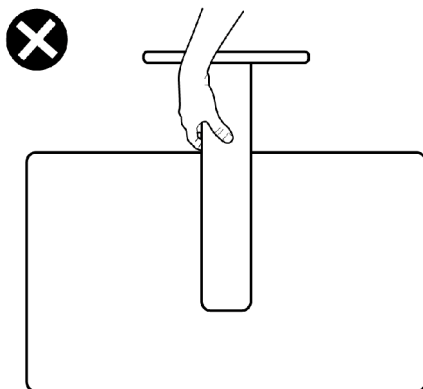
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりする際には、画面が自分と反対側を向くよう、ディスプレイ部に圧力がかからないようにし、傷や破損を避けてください。



- ・ モニターを動かす際には、突然の衝撃や振動をモニターに与えないようご注意ください。



- ・ モニターを持ち上げたり動かしたりする際、スタンドベースやスタンドライザーを持ってモニターが逆さまにならないようにしてください。逆さまにすると、モニターが偶発的に破損したり怪我の原因となったりする可能性があります。



メンテナンスガイドライン

モニターのお手入れ

- ⚠ **警告:** モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを外してください。
- ⚠ **注意:** モニターを清掃する前に、**安全に関する注意事項**を読み、記載されている指示に従ってください。

ベストプラクティスを実践するため、モニターの開梱、清掃、または取り扱い中は、以下に記載されているリストの指示に従ってください：

- ・ 帯電防止画面を清掃するには、柔らかく清潔な布を水で軽く湿らせてください。可能であれば、帯電防止コーティング用の特別な画面クリーニング用ティッシュや液剤を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨洗浄剤、または圧縮空気は使用しないでください。
- ・ 軽く湿らせた柔らかい布を使用してモニターを清掃します。モニターに乳白色の膜が残る洗剤もあるため、洗剤は一切使用しないでください。
- ・ モニターの開梱時に白い粉がついた場合は、布で拭いてください。
- ・ 暗めの色のモニターは、明るい色のモニターよりも傷が付きやすく、白い傷が表れることがあるため、モニターの取り扱いには注意してください。
- ・ モニターで最良の画像品質を維持するため、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、使用しない時にはモニターの電源を切るようにしてください。



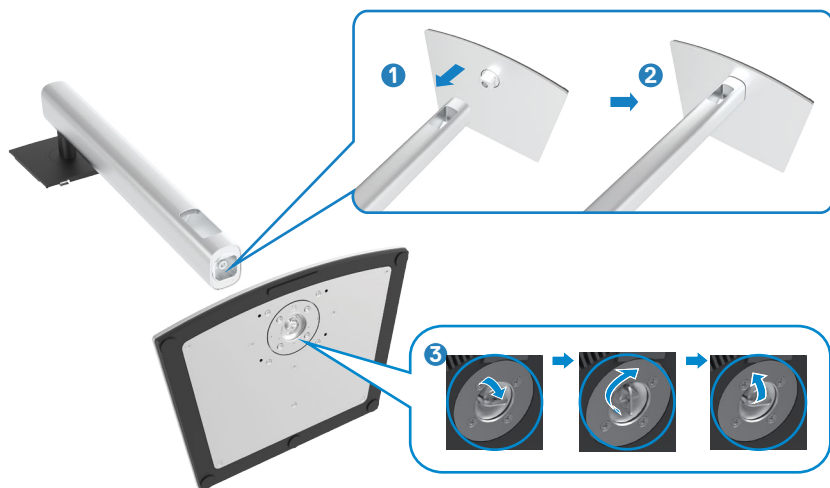
モニターを設置する

スタンドを取り付ける

- 注釈:工場からモニターを出荷する際には、スタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されます。
- 注釈:以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。
- △ 警告: ディスプレイパネルを傷つけないように、清潔で平面になった柔らかい場所にモニターを置きます。

モニタースタンドを取り付ける:

1. スタンドライザーとスタンドベースの位置を合わせて配置します。
2. スタンドベースの下部にあるネジハンドルを開いて、時計回りに回しスタンドアセンブリを固定します。
3. ネジハンドルを閉じます。



4. モニターの保護カバーを開いて、モニターの VESA スロットにアクセスします。



5. スタンドライザーのタブをディスプレイ背面カバーのスロットにスライドさせ、所定の位置に固定されるまでスタンドアセンブリを押し下げます。

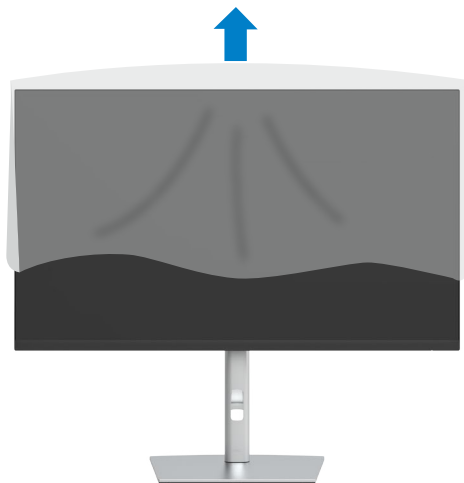


6. スタンドライザーを手に持ち、モニターを注意深く持ち上げて、平らな場所に置きます。




注釈: 偶発的な破損を防ぐため、モニターを持ち上げる際には、スタンドライザーをしっかりと持ってください。

7. モニターから保護カバーを持ち上げて外します。

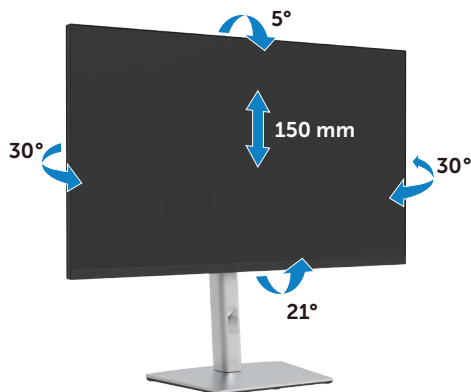



傾斜、回転、垂直延長調整機能を使用する

 注釈:以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

傾斜、回転、垂直延長調整機能

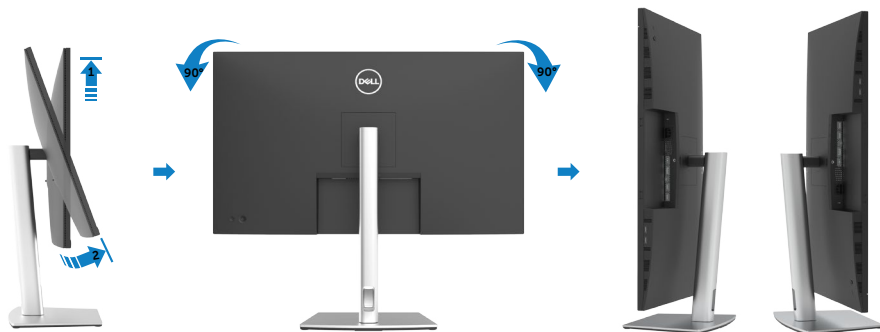
モニターにスタンドが付いている場合、最も見やすい角度になるようにモニターを傾けることができます。



 注釈:工場から出荷される際には、スタンドが取り外された状態になっています。

ディスプレイを回転させる

モニターを回転させる前に、モニターが垂直に拡張しているか、またはモニターの底部エッジの傾きを避けるために傾けてあるかいずれかになっています。



- **注釈:** Dellコンピュータで「ディスプレイ回転」機能(横対縦表示)を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバが必要です。最新のグラフィックスドライバをダウンロードして更新するには、<https://www.dell.com/support> に移動し、ビデオドライバのダウンロードセクションを参照してください。
- **注釈:** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。

システムの「ディスプレイ回転設定」の調整

モニターを回転させた後、以下の手順でシステムの「ディスプレイの回転設定」を調整する必要があります。

- **注釈:** Dellコンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

ディスプレイの回転設定を調整するには:

1. **Desktop (デスクトップ)** を右クリックし、**Properties (プロパティ)** をクリックします。
 2. **Settings (設定)** タブを選択し、**Advanced (詳細)** をクリックします。
 3. AMD グラフィックスカードを使用している場合は、**Rotation (回転)** タブを選んで、優先する回転を設定します。
 4. **nVidia** グラフィックスカードを使用している場合は、**nVidia** タブをクリックし、左側のリストから **NVRotate (NV回転)** を選択し、優先する回転を選択します。
 5. **Intel®** グラフィックスカードを使用している場合は、**Intel** グラフィックスタブを選択し、**Graphic Properties (グラフィックプロパティ)** をクリックし、**Rotation (回転)** タブを選択後、優先回転を設定します。
- **注釈:** 回転オプションが表示されない場合や正しく機能しない場合、<https://www.dell.com/support> にアクセスし、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードしてください。



モニターを接続する

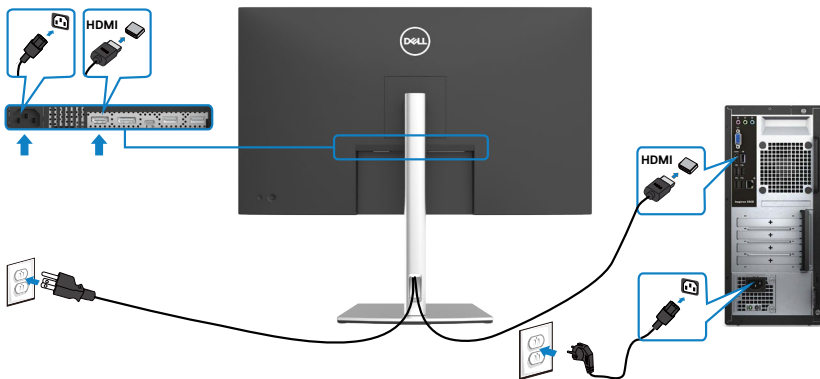
⚠ **警告:**このセクションの手順を開始する前に、[安全に関する注意事項](#)に従ってください。

モニターをコンピュータに接続します：

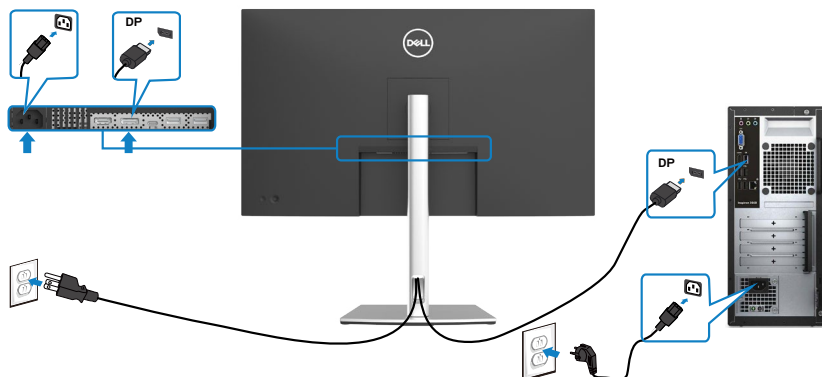
1. コンピュータの電源を切ります。
2. モニターとコンピューターをDP/HDMI/USB タイプ C ケーブルで接続します。
3. モニターの電源を入れます。
4. モニターの OSD メニューで正しい入力ソースを選択し、コンピュータの電源を入れます。

📌 **注釈:**P3221D のデフォルト設定は DisplayPort 1.2 です。DisplayPort 1.1 グラフィックカードの場合、正常に表示されないことがあります。「[製品に固有の問題 - PC に DP で接続すると画像が表示されない](#)」を参照して、デフォルト設定を変更してください。

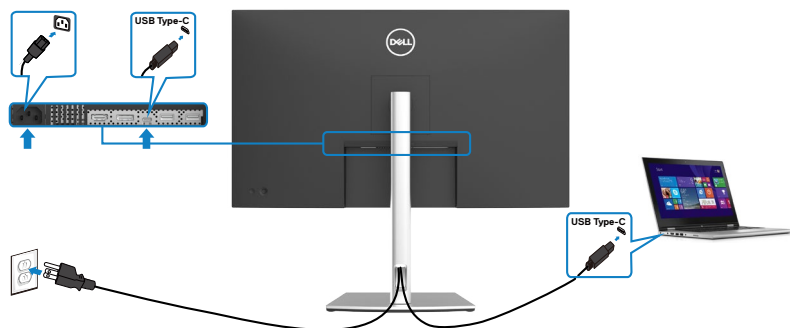
HDMI ケーブルを接続する



DP ケーブルを接続する



USB タイプ C® ケーブル (C - C) を接続する



モニターのUSBタイプCポート：

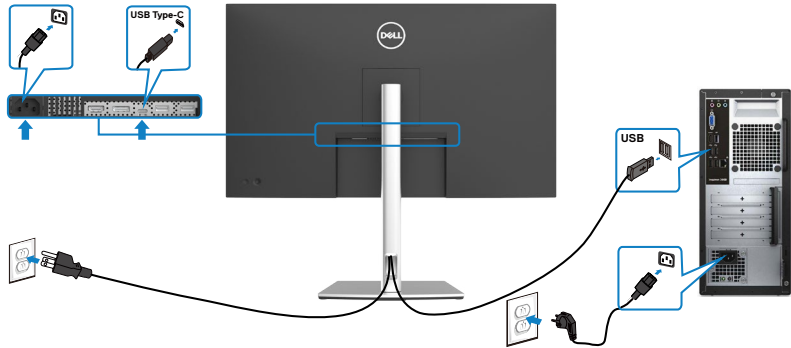
- ・ USBタイプCまたはDisplayPort 1.2として使用できます。
- ・ 最大65 Wのプロファイルを備えたUSB Power Delivery (PD) をサポートしています。

注意：ノートパソコンの電力要件/実際の消費電力、またはバッテリーの残り電力ランタイムにかかわらず、Dell P3221D モニターは、ノートパソコンに最大65 Wの電源を供給するように設計されています。



定格電力 (PowerDeliveryを用いてUSBタイプCを搭載するノートパソコン)	最大充電電力
45 W	45 W
65 W	65 W
90 W	未対応
130 W	未対応

USB タイプ C ケーブル (C - A) を接続する



ケーブルを整理する



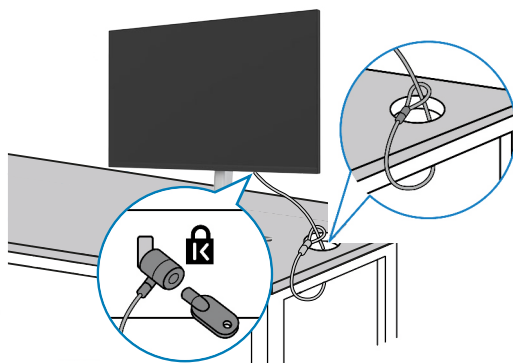
必要なすべてのケーブルをモニターとコンピュータに接続した後(ケーブルの接続については「[モニターの接続する](#)」を参照)、すべてのケーブルを上記に示されている通りに整理します。


Kensington ロックを使用してモニターを固定する(オプション)

セキュリティ固定スロットは、モニターの底部にあります。([セキュリティ固定スロット](#) を参照)

Kensington ロック(別売)の使用の詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。

Kensington セキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。



 **注釈:** 画像は説明を目的としたイメージです。ロックの外観が異なる場合があります。



モニタースタンドを取り外す

△ 注意: 台を取り外している間にLCD画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。

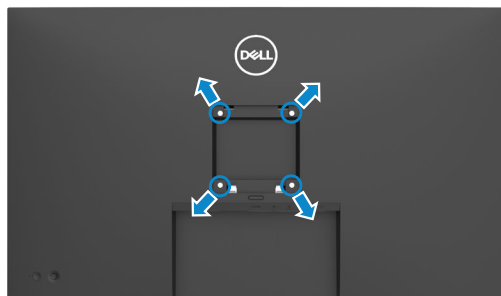
✎ 注釈: 以下の手順は、モニターに付属のスタンド専用のものです。他から購入したスタンドを取り付ける場合は、スタンドに付属されているセットアップ手順に従ってください。

スタンドを取り外します:

1. モニターを柔らかい布かクッションの上に置きます。
2. スタンドリリースボタンを長押しします。
3. スタンドを持ち上げて、モニターから外します。



壁取り付け (オプション)



注釈: M4 x 10mm ネジを使用して、モニターを壁取り付けキットに接続します。

VESA に対応した壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

1. 柔らかい布かクッションを置いた水平で安定した台の上にモニターを置きます。
2. スタンドを外します。
3. フィリップス型プラススクリュードライバーを使用して、プラスチックカバーを固定している4本のネジを取り外します。
4. 壁取り付けキットにある取り付け用ブラケットをモニターに取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付属する取扱説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

注釈: 最低でも25.6kg (56.4ポンド) の重量/耐荷重能力を備えたUL、CSA または GS に記載されている壁取り付け用ブラケットのみを使用してください。



モニターを操作する

モニターの電源を入れる

- ボタンを押してモニターの電源を入れます。



ジョイスティックコントロールを使う

モニターの背面にあるジョイスティックコントロールを使用して、OSD を調整します。



1. ジョイスティックボタンを押して、OSD メインメニューを起動します。
2. オプションは、ジョイスティックを上/下/左/右に動かして切り替えます。
3. ジョイスティックボタンをもう一度押すと設定が確定され、終了します。



ジョイスティック 説明



- ・ OSD メニューがオンの場合、ボタンを押すと確定するか設定を保存します。
- ・ OSD メニューがオフの場合、ボタンを押すと OSD メインメニューが起動されます。[メニューシステムにアクセスする](#)を参照してください。



- ・ 2方向(右左)へのナビゲーションです。
- ・ 右に動かすとサブメニューに入ります。
- ・ 左に動かすとサブメニューを終了します。
- ・ 選択したメニュー項目のパラメーターを増加(右)または減少(左)します。





- ・ 2方向(上下)への方向ナビゲーションです。
- ・ メニュー項目を切り替えます。
- ・ 選択したメニュー項目のパラメーターを増加(上)または減少(下)します。

モニターの背面にあるジョイスティックコントロールを使用して、ディスプレイ設定を調整します。このボタンを使用して設定を調整すると、OSD には変化する各機能の数値が表示されます。



オプション

説明

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 
Menu(メニュー) | この Menu (メニュー) ボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。
メニューシステムにアクセスする を参照してください。 |
| 2 | 
ショートカットキー：
入力信号 | このボタンを使って、入力ソースのリストから選択します。 |



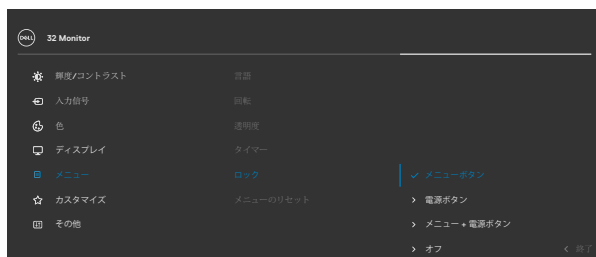
オプション	説明
3  Exit (終了)	このボタンを使用して、メインメニューに戻るか、OSD のメインメニューを終了します。
4  ショートカットキー： Preset Modes (プリセットモード)	このボタンを使用して、プリセットカラーモードの中から選びます。
5  ショートカットキー： Brightness/Contrast (輝度/コントラスト)	Brightness/Contrast (輝度/コントラスト) 用の調節スライダーに直接アクセスします。

OSDロック機能を使用する

OSD メニューおよび/または電源ボタンへのアクセスを防ぐため、前面パネルのコントロールボタンをロックすることができます。

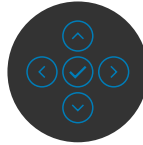
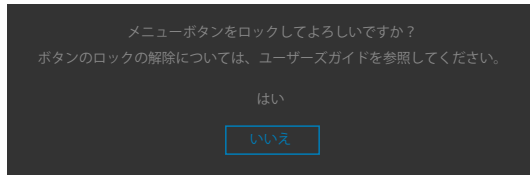
ロックメニューを使用してボタンをロックします。


1. 次のオプションのいずれかを選択します。



2. 次のメッセージが表示されます。

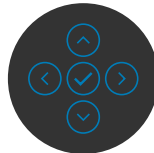
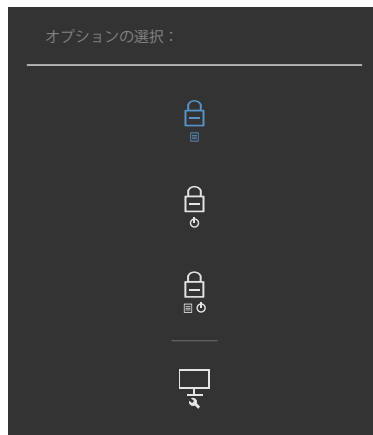








3. **はい**を選択して、ボタンをロックします。ロックすると、コントロールボタンを押した時にロックアイコンが表示されます 

ジョイスティックを使ってボタンをロックします

ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。

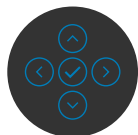
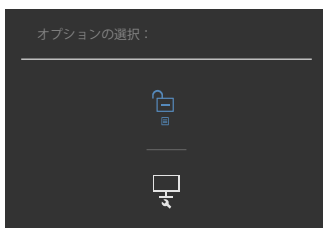



次のオプションのいずれかを選択します。

1	 メニューボタンのロック	このオプションを選択して、OSDメニュー機能をロックします。
2	 電源ボタンのロック	電源ボタンをロックする場合は、このオプションを選択します。これで、ユーザーは電源ボタンを使ってモニターの電源を切ることができなくなります。
3	 メニューボタンと電源ボタンのロック	このオプションを使用して、電源がオフにならないようにOSDメニューと電源ボタンをロックします。
4	 組み込み診断	このオプションを使用して、内蔵の診断機能を実行します。 内蔵の診断機能 を参照してください。



ボタンのロックを解除します。

ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。下記の表は、前面コントロールボタンのロックを解除する際のオプションについて説明しています。



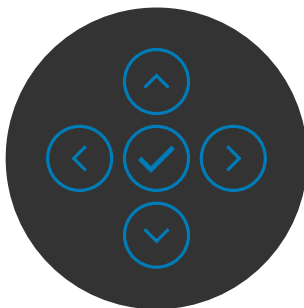
オプション	説明
1  メニューボタンのロック解除	このオプションを使用して、OSDメニュー機能のロックを解除します。








- | | | |
|----------------------------|---|--|
| 2 |  | このオプションを使用して、モニターをオフにできるように、電源ボタンのロックを解除します。 |
| 電源ボタンのロック解除 | | |
| 3 |  | このオプションを使用して、電源をオフにできるように、OSDメニューと電源ボタンのロックを解除します。 |
| メニューボタンと電源ボタンのロック解除 | | |

フロント-パネルボタン

モニターの前面にあるボタンを使用して、画像設定を調整します。



フロント-パネルボタン	説明
1  上  下	上(増)および下(減) ボタンを使用して、OSDメニューの項目を調整します。
2  前	前ボタンを押して前のメニューに戻ります。
3  次	次ボタンを使用して、次のレベルに行くか、オプションを選択します。
3  チェック	チェックボタンを使用して、選択を確定します。



オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを使用する

メニューシステムにアクセスする

アイメニューとサブメニュー 説明
コンユー



**Brightness/
Contrast**
(輝度/コントラスト)

このメニューを使用して、**輝度/コントラスト**の調整を有効にします。



Brightness (輝度) **Brightness (輝度)** は、バックライトの輝度を調整します (最小0、最大100)。

輝度を上げるには、ジョイスティックを上動かします。
輝度を下げるには、ジョイスティックを下動かします。

Contrast
(コントラスト)

最初に **Brightness (輝度)** を調節してから、さらに調整が必要な場合にのみ **Contrast (コントラスト)** を調整します。

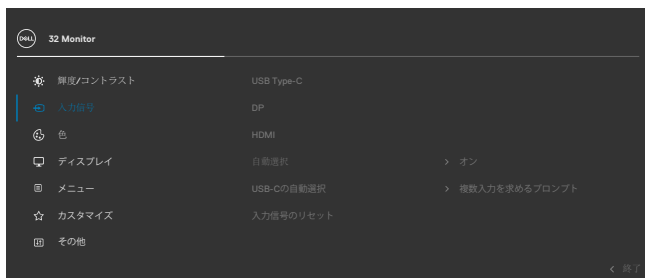
コントラストを増やすにはジョイスティックを上動かす、コントラストを減らすにはジョイスティックを下動かします (0~100の間)。

Contrast (コントラスト) 機能は、モニター画面の暗さと明るさの差の度合いを調整します。



 **Input Source (入力ソース)**

Input Source (入力ソース)メニューを使用して、モニターに接続されているさまざまなビデオ入力の中から選択します。



USBタイプC

USBタイプC コネクターを使用している場合は、**USBタイプC**入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。

DP

DP (DisplayPort) コネクターを使用している場合は、**DP**入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。

HDMI

HDMI コネクターを使用している場合は、**HDMI**入力を選択します。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。

Auto Select (自動選択)

この機能をオンにすると、モニターが使用できる入力ソースを自動スキャンします。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。

USB-Cの自動選択

USB Type-Cで自動選択の設定を可能にします。

- **複数入力を求めるプロンプト**: ユーザーが切り替えるか、切り替えないかを選択するための「USB Type-Cビデオ入力切り替えメッセージ」を常に表示します。
- **はい**: スケーラーは、USB Type-Cが接続されている間は、確認せずに常にUSB Type-Cビデオに切り替えます。
- **いいえ**: スケーラーは別の利用可能な入力からUSB Type-Cビデオに自動的に切り替わりません。ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。



アイコンメニューとサブメニュー 説明

Reset Input Source
(入力ソースのリセット)

モニターの入力ソースを工場出荷時のデフォルトにリセットします。



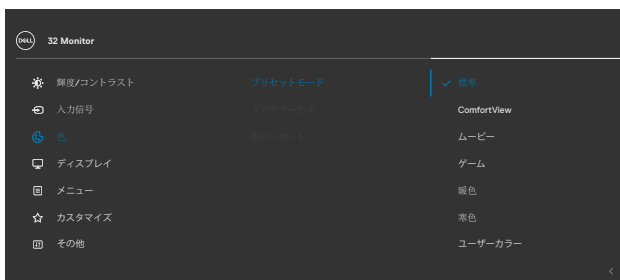
Color
(色)

色設定モードを調整するには[カラー]メニューを使用します。



Preset Modes (プリセットモード)

プリセットカラーモードの一覧の中から選択できます。



- **Standard (標準)** : デフォルトのカラー設定です。これはデフォルトのプリセットモードです。
 - **ComfortView** : 目がより快適な状態で視聴できるように、画面から放出されるブルーライト量を減らします。
警告 : モニターから放出されるブルーライトに長期間さらされると、デジタル眼精疲労、目の疲労、目への損傷など、人身傷害を引き起こす可能性があります。また、モニターを長時間使用する場合、首、腕、背中、肩などの部位に痛みが生じる可能性があります。詳細については、[エルゴノミクス](#)を参照してください。
 - **Movie (動画)** : 映画に最適です。
 - **Game (ゲーム)** : ほとんどのゲームアプリケーションに最適です。
 - **Warm (ウォーム)** : 色温度を上げます。画面は赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
 - **Cool (クール)** : 色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
 - **Custom Color (カスタム色)** : カラー設定を手動で調整できます。
- ジョイスティックボタンを使用して、選択を確定します。

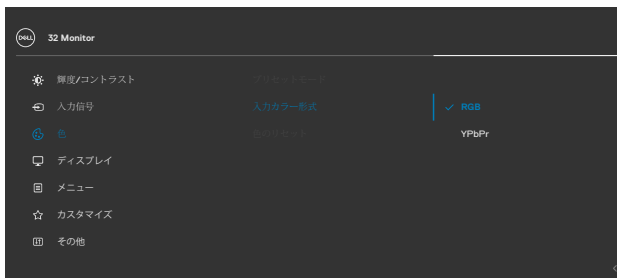


アイコン **メニューとサブメニュー** **説明**

Input Color Format
(入力カラー形式)

ビデオ入力モードは次のように設定できます：

- ◆ **RGB**：USBタイプC、DP ケーブルを使って、モニターをコンピュータ（または DVD プレーヤー）に接続している場合、このオプションを選択します。
- ◆ **YPbPr**：お使いのDVDプレーヤーがYPbPr出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。



Reset Color
(色のリセット)

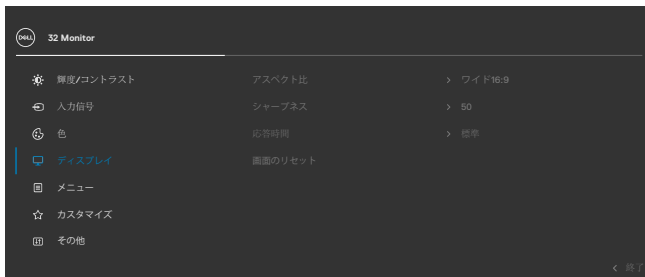
モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。





Display (ディスプレイ)

ディスプレイメニューを使用して画像を調整します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

画像比率を **Wide 16:9 (ワイド16:9)**、**4:3**、**5:4**に調整します。

Sharpness (シャープネス)

画像をよりシャープまたはソフトに見せます。
ジョイスティックを上下に動かして、シャープネスを「0」から「100」の範囲で調整します。

応答時間

応答時間は、標準または高速に設定することが可能です。

Reset Display (ディスプレイのリセット)

Display (ディスプレイ)メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

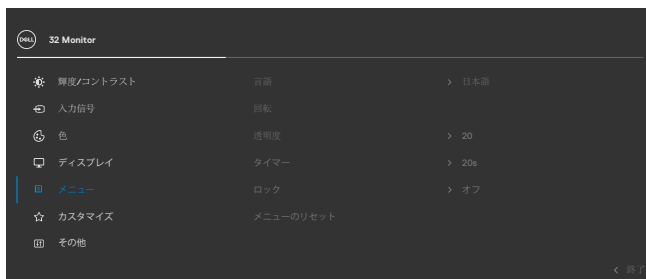


アイコン メニューとサブメニュー 説明



Menu (メニュー)

このオプションを選択して、OSD の言語やメニューが画面に表示される長さなどの OSD の設定を調整します。



Language (言語)

8つある言語の中の1つの言語にOSDディスプレイを設定します。

(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語または日本語)。

Rotation (回転)

OSDは 0/90/180/270 度で回転します。

ディスプレイの回転に従って、メニューを調整できます。

Transparency (透明度)

このオプションを選択し、ジョイスティックを上下に動かして透明度を変更(最小 0、最大 100)、メニューの透明度を変更します。

Timer (タイマー)

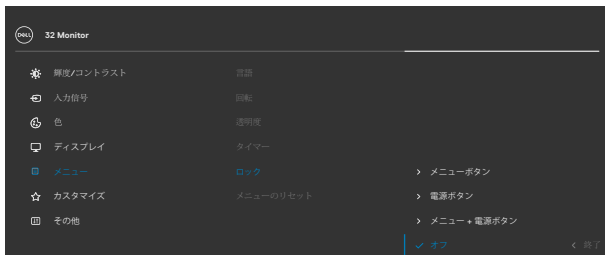
OSD Hold Time (OSD表示時間): ボタンを押した後、OSD がアクティブ状態を維持する長さを設定します。

ジョイスティックを動かしてスライダーを調節し、5秒～60秒の間で1秒単位で調整します。



ロック

ユーザーの調節へのアクセスを制限します。ボタンはロックされています。



- **メニューボタン**: OSDを通してメニューボタンをロックします。
- **電源ボタン**: OSDを通して電源ボタンをロックします。
- **メニュー + 電源ボタン**: OSDを通してメニューボタンと電源ボタン全てをロックします。
- **無効にする**: ジョイスティックを左に動かして4秒間そのままにします。

Reset Menu
(メニューのリセット)

Reset (リセット) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。





Personalize (個人用設定)



Shortcut key 1 (ショートカットキー1)

プリセットモード、輝度/コントラスト、入力ソース、アスペクト比、回転からショートカットキーに設定するものを選択します。

Shortcut key 2 (ショートカットキー2)

Shortcut key 3 (ショートカットキー3)

Power Button LED (電源ボタン LED)

電源ライトの状態を設定してエネルギーを節約できます。

USB-C充電 65W

モニターがスタンバイモードの時に、USB-C 充電 65 W の機能を有効または無効にできます。

ご注意:モニターでこのオプションを有効にすると、モニターの電源がオフになっている場合でも、USBタイプCケーブル(C to C)経由でラップトップを充電できます。

その他のUSB充電

モニターがスタンバイモードの時に、その他のUSB充電機能を有効または無効にできます。

ご注意:このオプションは、旧式モニターのファームウェア版では「USB」と呼ばれていました。

Reset Personalization (個人用設定のリセット)

Personalization (個人用設定)メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。





Others (その他)

DDC/CI、LCD conditioning (LCD 調節) などの OSD 設定を調整する場合は、このオプションを選択します。

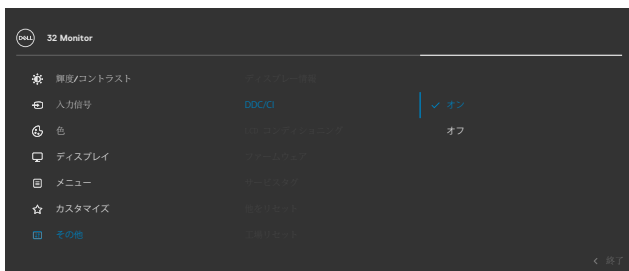


Display Info (情報を表示)

モニターの現在の設定を表示します。

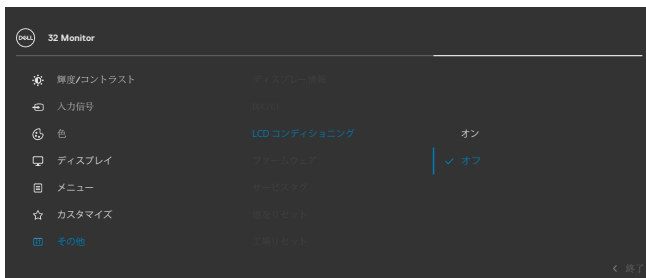
DDC/CI

DDC/CI (ディスプレイデータチャネル/コマンドインターフェイス)を使用することで、コンピュータのソフトウェアを経由してモニターのパラメーター(輝度、カラーバランスなど)を調節できるようになります。**Off (オフ)**を選択すれば、この機能を無効にできます。ユーザーの使用感とモニターのパフォーマンスを最適の状態にする場合は、この機能を有効にしてください。



LCD Conditioning
(LCD 調節)

残像によるささいな問題を軽減するのに役立ちます。残像の程度によっては、プログラムの実行に時間がかかる場合があります。On (オン) を選択すれば、この機能を有効にできます。



Firmware
(ファームウェア)

モニターのファームウェアバージョンを表示します。

Service Tag
(サービスタグ)

サービスタグを表示します。サービスタグは一意の英数字識別子であり、Dell 側で製品の仕様を識別して保証情報にアクセスできるようにするためのものです。

注釈: サービスタグは、カバーの背面に貼られたラベルにも印刷されています。

Reset Others
(その他のリセット)

Others (その他) メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

Factory Reset
(工場出荷時にリセット)

すべてのプリセット値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。これは ENERGY STAR® 試験向けの設定でもあります。



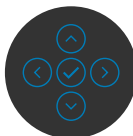
OSD 警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードに対応していない場合に、次のメッセージが表示されます：

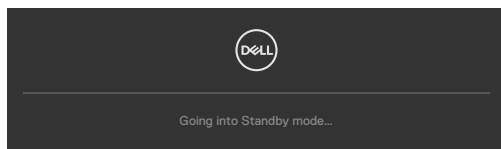


これは、モニターがコンピュータから受信する信号と同期できないことを意味しています。このモニターでアドレス可能な水平および垂直周波数範囲については、[解像度の仕様](#)を参照してください。推奨されるモードは2560 x 1440です。

DDC/CI 機能が無効になる前には、次のメッセージが表示されます：



モニターがスタンバイモードに入ると、次のメッセージが表示されます：



OSD にアクセスする場合は、コンピュータをオンにしてモニターをウェイクアップ状態にしてください。



電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力に応じて次のメッセージが表示されます：



HDMI、DPおよび USBタイプC入力のいずれかが選択されており、それに対応するケーブルが接続されていない場合、次に示されているようなダイアログボックスが表示されます：



または

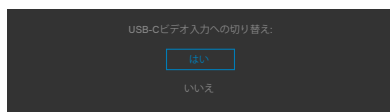


または



DP代替モードをサポートしているケーブルがモニターに接続している間、次の条件でメッセージが表示されます。

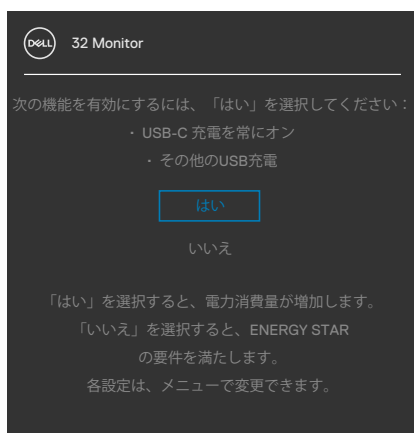
- ・ USB-Cの自動選択が複数入力のプロンプトに設定されている場合。
- ・ DPケーブルがモニターに接続されている場合。



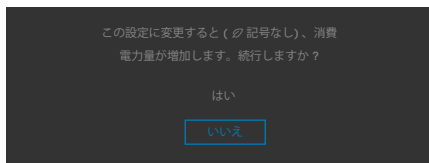
その他の機能にある工場出荷時の状態にリセットするための OSD 項目を選択すると、次のメッセージが表示されます：



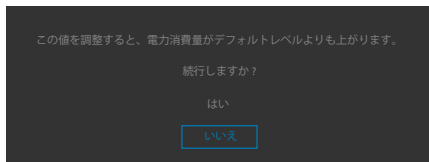
「はい」を選択してデフォルト設定にリセットすると、次のメッセージが表示されます。



パーソナライズ機能で OSD 項目のスタンバイモードでオフ  を選択すると、次のメッセージが表示されます。



輝度レベルをデフォルトレベルの75%以上に調整すると、次のメッセージが表示されます：



詳細については [トラブルシューティング](#) を参照してください。



最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定します：

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1の場合：

1. Windows 8 または Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択して、クラシックデスクトップに切り替えます。Windows Vista および Windows 7 の場合は、この手順は省略してください。
2. デスクトップを右クリックして **Screen Resolution (画面解像度)** をクリックします。
3. **Screen Resolution (画面解像度)** のドロップダウンリストをクリックして、**2560 x 1440** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows 10 の場合：

1. デスクトップを右クリックして **Display Settings (ディスプレイ設定)** をクリックします。
2. **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)** をクリックします。
3. **Resolution (解像度)** のドロップダウンリストをクリックして、**2560x1440** を選択します。
4. **Apply (適用)** をクリックします。

オプションに **2560 x 1440** が表示されない場合、グラフィックスドライバーを更新する必要がある可能性があります。コンピュータに応じて、次のいずれかの手順を実行します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピュータを使用している場合：

- ・ <https://www.dell.com/support> にアクセスし、サービスタグを入力して、お使いのグラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 製以外のコンピュータ (ラップトップまたはデスクトップ) を使用している場合：

- ・ コンピュータ製造元のサポートサイトにアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。
- ・ グラフィックカード製造元のウェブサイトアクセスし、最新のグラフィックドライバをダウンロードします。



トラブルシューティング

⚠ **警告:**このセクションの手順を開始する前に、**安全に関する注意事項**に従ってください。

セルフテスト

モニターには、モニターが正常に機能しているかどうかを確認できるセルフテスト機能が備わっています。モニターとコンピュータが適切に接続されているにもかかわらず、モニター画面が暗い状態のままの場合は、次の手順を実行してモニターのセルフテストを行ってください:

1. コンピュータとモニターの両方の電源を切ります。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを外します。適切なセルフテスト動作を確保するため、コンピュータの背面にあるすべてのデジタルケーブルとアナログケーブルを外してください。
3. モニターの電源を入れます。

モニターがビデオ信号を検出できなくても正常に動作している場合は、ダイアログボックスが画面上に表示されます (黒いゾックグラウンドの上に表示)。セルフテストモード中、電源 LED は白いままです。また、選択した入力に応じて、以下に示されているダイアログのいずれかが画面上に連続で表示されます。



または



または



4. このダイアログボックスは、ビデオケーブルが切断されたり損傷したりした場合、通常のシステム動作中にも表示されます。
5. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再び接続してから、コンピュータとモニターの両方の電源を入れます。

前記の手順を実行してもモニター画面が空白のままの場合は、ビデオコントローラーとコンピュータを確認してください。モニターは正常に機能しています。




内蔵されている診断機能

モニターには、発生している画面の異常がモニターに固有の問題なのか、コンピュータやビデオカードに固有の問題なのかを判断するのに役立つ診断ツールが内蔵されています。

注意：ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



内蔵診断を実行する方法：

1. 画面が清潔であることを確認します (画面の表面にほこりや粒子がついていない状態)。
2. ジョイスティックを左方向に4秒間長押しすると、メニューが画面に表示されます。
3. ジョイスティックコントロールを使用して、診断  オプションを指定し、ジョイスティックボタンを押して診断を開始します。グレー画面が表示されます。
4. 画面に欠陥や異常がないか確認します。
5. 赤い画面が表示されるまで、ジョイスティックをもう一度切り替えます。
6. 画面に欠陥や異常が表示されていないか確認します。
7. 画面に緑、青、黒、白色が表示されるまで、手順5と6を繰り返します。異常や欠陥に注意してください。

白い画面が現れると、テストは完了です。終了するには、ジョイスティックコントロールをもう一度切り替えます。

内蔵診断ツールを使用しても画面に異常が検出されない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピュータを確認してください。



よくある問題

以下の表で、発生する可能性のある、よくあるモニター上の問題に関する一般的な情報と、考える解決方法について説明します。

よくある問題	経験する事項	考える解決方法
ビデオ/電源がない LED がオフの状態	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されていることを確認します。・他の電気機器を使用して、コンセントが適切に機能しているか確認します。・電源ボタンをしっかりと最後まで押しているか確認します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオ/電源がない LED がオフの状態	画像が表示されないか、輝度がない	<ul style="list-style-type: none">・OSD を使用して、輝度とコントラストを増やします。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。・内蔵診断機能を実行します。・入力ソースメニューで正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ピクセルが欠けている	液晶画面に斑点がある	<ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト (https://www.dell.com/support/monitors) をご覧ください。
張り付いたピクセル	液晶画面に明るく斑点がある	<ul style="list-style-type: none">・電源サイクル操作でオン、オフにします。・永続的にオフ状態のピクセルは、液晶技術で発生する可能性のある自然な欠陥です。・Dell モニターの品質とピクセルポリシーに関する詳細については、Dell サポートサイト (https://www.dell.com/support/monitors) をご覧ください。
輝度の問題	画像が暗すぎる、または明るすぎる	<ul style="list-style-type: none">・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。・OSD を使用して、輝度とコントラストを調整します。



よくある問題	経験する事項	考える解決方法
安全に関連した問題	煙または火花が目で確認できる	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルシューティングはしないでください。 ・至急 Dell までお問い合わせください。
一時的に停止する問題	モニターの誤作動でオン&オフになる	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。 ・モニターのセルフテスト機能チェックを実行して、セルフテストモードでも一時的に停止する問題が発生するか確認します。
色が欠けている	画像に欠けた色がある	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターのセルフテストを実行します。 ・モニターとコンピュータを接続するビデオケーブルが、適切かつしっかりと接続されているか確認します。 ・ビデオケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないか確認します。
色に誤りがある	画像の色が良くない	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションに応じて、OSD のカラーメニューのプリセットモード設定を変更します。 ・OSD のカラーメニューのカスタムカラーにある R/G/B 値を調整します。 ・OSD のカラーメニューで、入力カラー形式を PC RGB または YPbPr に変更します。 ・内蔵診断機能を実行します。
モニターに長時間映された静止画像からの残像	表示された静止画像からのかすかな影が画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・画面がアイドル状態になってから数分後に、画面がオフになるように設定します。これらの設定は、Windows の電源オプションまたは Mac の省エネルギー設定で調整できます。 ・ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用することもできます。



製品に固有の問題

問題	経験する事項	考える解決方法
画面の画像が小さすぎる	画像は画面の中央に表示されるが、表示エリア全体に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・OSD のディスプレイメニューにあるアスペクト比設定を確認します。・モニターを工場出荷時の設定にリセットします。
フロントパネルにあるボタンでモニターを操作できない	OSD が画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・モニターの電源を切り、モニターの電源ケーブルを抜いてから、再び差し込み、モニターの電源を入れます。
ユーザーコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されない、LED ライトは白色	<ul style="list-style-type: none">・信号ソースを確認してください。マウスを動かすか、キーボードのキーを押して、コンピュータがパワーセーブモードになっていないかを確認します。・信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。必要に応じて、信号ケーブルを接続し直します。・コンピュータまたはビデオプレーヤーをリセットします。
画像が画面全体に表示されない	画像が画面の高さまたは幅全体を埋めることができない	<ul style="list-style-type: none">・DVD のビデオ形式 (アスペクト比) が異なるために、モニターにフル画面で表示される場合があります。・内蔵診断機能を実行します。
コンピュータ、ノートパソコンなどへの USB タイプ C 接続を使用すると画像が表示されません	ブランク画面	<ul style="list-style-type: none">・デバイスの USB タイプ C インターフェイスが DP 代替モードをサポートできるかどうかを確認します。・デバイスが 65 W 以上の電力を充電する必要があるかどうか確認します。・デバイスの USB タイプ C インターフェイスは、DP 代替モードをサポートできません。・Windows を投影モードに設定します。・USB タイプ C ケーブルが損傷していないことを確認します。



問題	経験する事項	考える解決方法
コンピューターやノートPCなどへUSB Type-C接続を使用しているときは充電されません	充電されません	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスが5 V/9 V/15 V/20 V充電プロファイルのいずれかをサポートできるかどうかを確認します。 ・ラップトップに65W以上の電源アダプターが必要かどうか確認してください。 ・ラップトップに65W以上の電源アダプターが必要な場合、USB Type-C接続では充電できない場合があります。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USBタイプCケーブルが損傷していないことを確認します。
コンピューターやノートPCなどへUSB Type-C接続を使用しているときは断続的に充電される	断続的な充電	<ul style="list-style-type: none"> ・デバイスの最大消費電力が65Wを超えていないか確認します。 ・Dell認定のアダプタまたは製品に付属のアダプタのみを使用するようにしてください。 ・USBタイプCケーブルが損傷していないことを確認します。
PCにDPで接続すると画像が表示されない	黒い画面	<ul style="list-style-type: none"> ・お使いのグラフィックスカードが認定を受けている DP 基準 (DP 1.1aまたは DP 1.2) はどれかを確認します。最新のグラフィックスカードドライバーをダウンロードおよびインストールしてください。 ・DP 1.1a グラフィックスカードの中には、DP 1.2 モニターに対応していないものがあります。OSDメニューを開き、入力ソース選択で、DP を選択するジョイスティックを8秒間押し続けて、モニター設定を DP 1.2 から DP 1.1a に変更します。



ユニバーサル・シリアル・バス (USB) に固有の問題

具体的な症状	経験する事項	考える解決方法
USBインターフェースが機能しない	USB 周辺機器が機能しない	<ul style="list-style-type: none">・ディスプレイがオンになっていることか確認します。・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。・モニターの電源を切り、再びオンにします。・コンピュータを再起動します。・ポータブルハードドライブなどの一部 USB デバイスは、より高い電源を必要とします。ドライブをコンピュータに直接接続してください。
SuperSpeed USB 5 Gbps (USB 3.2 Gen1) インターフェースが遅くなっています。	USB 3.2 Gen1 周辺機器の動作が遅い、またはまったく動作しない	<ul style="list-style-type: none">・コンピュータが USB 3.2 Gen1 に対応しているか確認します。・コンピュータの中には、USB 3.2 Gen1、USB 2.0、USB 1.1ポートが付いているものもあります。正しい USB ポートが使用されているか確認してください。・アップストリームケーブルをコンピュータに再度接続します。・USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再度接続します。・コンピュータを再起動します。
USB 3.2 Gen1 デバイスを接続すると、ワイヤレス USB 周辺機器が機能しなくなる	ワイヤレス USB 周辺機器の応答が遅いか、周辺機器とレシーバーの距離が短くなった場合にのみ機能する	<ul style="list-style-type: none">・USB 3.2 Gen1 周辺機器とワイヤレス USB レシーバーの距離を離します。・ワイヤレス USB レシーバーとワイヤレス USB 周辺機器の距離を、できるだけ短くします。・USB 延長ケーブルを使用して、ワイヤレス USB レシーバーを USB 3.2 Gen1 ポートからできるだけ離します。
USB が機能しない	USB の機能がない	入力ソースと USB のペアリング表を参照してください。




付録

FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、
https://www.dell.com/regulatory_compliance の規制対応ウェブサイトを参照してください。

Dell へのお問い合わせ

米国のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお問い合わせください。

 **注釈:** 利用できるインターネット接続がない場合、購入時の請求書、梱包票、請求書、または Dell 製品カタログにも連絡先情報が記載されています。

Dell では、複数の方法で、オンラインおよび電話によるサポートとサービスを提供しています。ご利用いただける方法は、国や製品によって異なり、お住まいの地域ではご利用いただけないサービスもあります。

- ・ オンラインテクニカルサポート — <https://www.dell.com/support/monitors>

エネルギーラベルと製品情報シートに関するEU製品データベース:

P3221D: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/344904>

